

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第17期第2四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

【英訳名】 GungHo Online Entertainment, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 森下一喜

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内三丁目8番1号

【電話番号】 03-6895-1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂井一也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内三丁目8番1号

【電話番号】 03-6895-1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂井一也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第16期 第2四半期 連結累計期間		第17期 第2四半期 連結累計期間		第16期	
		自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	(百万円)	7,137		74,621		25,821	
経常利益	(百万円)	1,091		45,313		9,355	
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,080		28,179		8,209	
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,086		28,500		8,544	
純資産額	(百万円)	11,894		47,922		19,391	
総資産額	(百万円)	15,454		72,853		25,085	
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	94.01		2,447.88		714.20	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	93.87		2,446.10		712.97	
自己資本比率	(%)	55.9		61.7		65.5	
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,514		35,930		6,134	
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,486		10,964		1,836	
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	29		356		153	
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	5,689		35,739		10,209	

回次		第16期 第2四半期 連結会計期間		第17期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	74.18		1,376.86	

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき10株の割合、平成25年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

4. 第17期より金額の表示単位を千円単位から百万円単位へ変更しております。なお、比較を容易にするため第16期についても百万円単位に組替えて表示しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による経済・金融政策の期待感などから円安や株高が進行し、景気回復の期待感が高まる一方で、雇用情勢や所得環境の改善の動きは鈍く、個人消費は回復を実感できないまま低調に推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォン市場規模が利用者数、売上規模ともにさらに拡大を続けていること、また年末商戦に向けた新型ゲーム機が発表されるなど、当社グループが事業を展開するゲーム市場は今後もさらなる成長が期待されます。

このような事業環境の中、当社グループは「新規価値の創造」と「既存価値の最大化」を経営方針とし、PCオンラインゲームの企画・開発・配信で培ったノウハウを発揮することで、家庭用ゲーム機、携帯型ゲーム機、スマートフォン等、様々な端末に向け新しいゲームタイトルの創出及び既存ゲームの価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は売上高74,621百万円（前年同期比945.5%増）、営業利益は45,154百万円（同4,331.1%増）、経常利益は45,313百万円（同4,050.1%増）、四半期純利益は28,179百万円（同2,507.8%増）となりました。

なお、報告セグメントの状況（セグメント間の内部取引消去前）は、以下のとおりであります。

PCオンライン事業

PCオンライン事業におきましては、引き続き「ラグナロクオンライン」「エミル・クロニクル・オンライン」を中心に事業を展開しております。しかしながら、スマートフォン市場の急拡大や、携帯型家庭用ゲーム機のオンライン化が進むとともに、ゲームユーザーのライフスタイルの変化などから、前四半期に引き続きユーザーがPC以外の端末へ移行する動きが見られ、売上高は減少傾向にあります。

この結果、売上高は3,362百万円（前年同期比18.6%減）、セグメント損失（営業損失）は37百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）881百万円）となりました。

モバイルコンシューマ事業

モバイルコンシューマ事業におきましては、引き続きスマートフォンゲーム「パズル&ドラゴンズ」が順調に推移し、6月29日に日本国内でのダウンロード数が1600万を超え、これまで類をみないゲームタイトルへと成長を遂げてまいりました。また、アクションパズルRPG「ケリ姫」シリーズが6月9日に累計600万ダウンロードを数えました。コンシューマゲームにおきましては、第3四半期以降に発売開始予定のゲームタイトルの開発を進めてまいりました。

この結果、売上高は71,359百万円（前年同期比2,178.2%増）、セグメント利益（営業利益）は45,808

百万円（同8,340.0%増）となりました。

(2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、72,853百万円（前連結会計年度末190.4%増）となりました。これは主に、スマートフォン向けアプリの売上高が引き続き増加した結果、現金及び預金が35,793百万円増加、売掛金が9,904百万円増加したことによります。

負債合計は、24,931百万円（同337.9%増）となりました。これは主に、当社の課税所得の発生に伴い未払法人税等が16,548百万円増加したことによります。

純資産合計は、47,922百万円（同147.1%増）となりました。これは主に、スマートフォン向けアプリの売上高が増加した結果、利益剰余金が28,179百万円増加したことによります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ25,529百万円増加し、第2四半期連結累計期間末には35,739百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によって得られた資金は35,930百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益45,257百万円及び売上債権の増加によるキャッシュ・フローの減少額9,878百万円が含まれるためです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によって使用された資金は10,964百万円となりました。

これは主に定期預金の預入による支出10,950百万円が含まれるためです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によって得られた資金は356百万円となりました。

これは主に長期借入による収入700百万円が含まれるためです。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、351百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,212,000
計	3,212,000

(注) 平成25年7月1日付で株式分割に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は28,908,000株増加し、32,120,000株となっております。

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,151,710	11,520,100	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注1)(注2) (注3)(注4)
計	1,151,710	11,520,100		

(注) 1 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

2 単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。

3 「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

4 平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の株式分割を行っております。これにより、発行済株式総数は10,365,390株増加し、11,517,100株となっております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日 (注) 1	1,036,539	1,151,710		5,337		5,330

(注) 1 平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の株式分割いたしました。

2 平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の株式分割を行っております。これにより、発行済株式総数は10,365,390株増加し、11,517,100株となっております。

(6) 【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ソフトバンク株式会社	東京都港区東新橋1丁目9-1	387,440	33.64
株式会社ハーティス	東京都品川区西五反田2丁目6-3	213,080	18.50
アジアングループ合同会社	東京都千代田区神田淡路町1丁目1	83,310	7.23
ソフトバンクモバイル株式会社	東京都港区東新橋1丁目9-1	73,400	6.37
森下 一喜	千葉県千葉市美浜区	15,100	1.31
株式会社サン・クロレラ	京都府京都市下京区烏丸通五条下る大坂町3 69番地	11,370	0.98
大阪証券金融株式会社	大阪府大阪市中央区北浜2丁目4-6	8,007	0.69
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	6,180	0.53
孫 泰蔵	東京都港区	3,850	0.33
クレディ・スイス・セキュリ ティーズ(ヨーロッパ)リミ テッドメインアカウント (常任代理人 クレディ・スイス 証券株式会社)	ONE CABOT SQUARE LONDON E14 4QJ GB (東京都港区六本木1丁目6-1)	3,349	0.29
計		805,086	69.90

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,151,710	1,151,710	権利の内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	1,151,710		
総株主の議決権		1,151,710	

(注) 平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の株式分割を行っております。これにより、発行済株式総数は10,365,390株増加し、11,517,100株となっております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

(1)当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

(2)当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替えて表示しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,243	47,036
売掛金	7,142	17,046
有価証券	406	428
商品	24	25
仕掛品	99	73
繰延税金資産	435	1,682
その他	379	442
貸倒引当金	8	13
流動資産合計	19,722	66,723
固定資産		
有形固定資産合計	509	497
無形固定資産		
のれん	331	636
ソフトウェア	2,121	1,847
ソフトウェア仮勘定	592	1,065
その他	32	37
無形固定資産合計	3,077	3,585
投資その他の資産		
長期前払費用	147	110
繰延税金資産	974	1,232
その他	749	808
貸倒引当金	96	103
投資その他の資産合計	1,775	2,047
固定資産合計	5,362	6,130
資産合計	25,085	72,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	354	417
短期借入金	38	55
1年内返済予定の長期借入金	128	111
1年内償還予定の社債	14	7
未払法人税等	2,276	18,824
賞与引当金	7	19
その他	2,120	4,115
流動負債合計	4,939	23,550
固定負債		
長期借入金	153	803
退職給付引当金	72	77
長期前受収益	296	283
その他	231	215
固定負債合計	754	1,380
負債合計	5,693	24,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,332	5,337
資本剰余金	5,493	5,498
利益剰余金	6,486	34,665
株主資本合計	17,312	45,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	-
為替換算調整勘定	880	575
その他の包括利益累計額合計	879	575
少数株主持分	2,958	2,995
純資産合計	19,391	47,922
負債純資産合計	25,085	72,853

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,137	74,621
売上原価	3,058	22,984
売上総利益	4,079	51,637
販売費及び一般管理費	3,060	6,482
営業利益	1,019	45,154
営業外収益		
受取利息	66	62
為替差益	-	74
その他	45	40
営業外収益合計	111	177
営業外費用		
支払利息	8	13
持分法による投資損失	1	-
貸倒引当金繰入額	13	-
為替差損	9	-
その他	5	5
営業外費用合計	38	19
経常利益	1,091	45,313
特別利益		
関係会社株式売却益	46	-
関係会社清算益	-	82
特別利益合計	46	82
特別損失		
減損損失	125	138
特別損失合計	125	138
税金等調整前四半期純利益	1,012	45,257
法人税、住民税及び事業税	124	18,701
法人税等調整額	47	1,435
法人税等合計	76	17,265
少数株主損益調整前四半期純利益	936	27,992
少数株主損失()	144	186
四半期純利益	1,080	28,179

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	936	27,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	150	509
その他の包括利益合計	150	508
四半期包括利益	1,086	28,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,169	28,483
少数株主に係る四半期包括利益	82	17

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,012	45,257
減価償却費	1,095	596
減損損失	125	138
のれん償却額	77	125
貸倒引当金の増減額（は減少）	13	4
賞与引当金の増減額（は減少）	13	12
退職給付引当金の増減額（は減少）	1	1
持分法による投資損益（は益）	1	-
為替差損益（は益）	0	6
関係会社清算損益（は益）	-	82
関係会社株式売却損益（は益）	46	-
受取利息及び受取配当金	66	62
支払利息	8	13
売上債権の増減額（は増加）	616	9,878
たな卸資産の増減額（は増加）	10	25
仕入債務の増減額（は減少）	76	49
未払消費税等の増減額（は減少）	67	1,514
その他	26	488
小計	1,593	38,210
利息及び配当金の受取額	66	62
利息の支払額	8	15
法人税等の支払額	136	2,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,514	35,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,263	10,950
定期預金の払戻による収入	834	757
有価証券の純増減額（は増加）	-	5
有形及び無形固定資産の取得による支出	982	635
長期前払費用の取得による支出	45	29
敷金及び保証金の差入による支出	97	25
敷金及び保証金の回収による収入	-	5
関係会社株式の売却による収入	64	-
関係会社株式の取得による支出	-	173
その他	3	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,486	10,964

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	120	17
長期借入れによる収入	40	700
長期借入金の返済による支出	69	316
社債の償還による支出	7	7
その他	53	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	29	356
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	205
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	128	25,529
現金及び現金同等物の期首残高	5,561	10,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,689	35,739

【会計方針の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
(減価償却方法の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
給与手当	916百万円	1,167百万円
広告宣伝費	587百万円	2,542百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金	6,684百万円	47,036百万円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	1,304百万円	11,639百万円
有価証券勘定に含まれる 預入期間が3ヶ月以内の 譲渡性預金	309百万円	342百万円
現金及び現金同等物	5,689百万円	35,739百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PCオンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,074	3,063	7,137		7,137
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	68	127	127	
計	4,132	3,132	7,264	127	7,137
セグメント利益	881	542	1,424	405	1,019

(注) 1. セグメント利益の調整額 405百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない
 当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PCオンライン事業」「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、それぞれゲーム資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において、「PCオンライン事業」29百万円、「モバイルコンシューマ事業」96百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	PC オンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,339	71,281	74,621		74,621
セグメント間の内部売上 高又は振替高	22	77	100	100	
計	3,362	71,359	74,721	100	74,621
セグメント利益	37	45,808	45,770	615	45,154

(注) 1. セグメント利益の調整額 615百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない
 当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PC オンライン事業」「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、それぞれゲーム資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において、「PC オンライン事業」64百万円、「モバイルコンシューマ事業」73百万円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	94円01銭	2,447円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,080	28,179
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,080	28,179
普通株式の期中平均株式数(株)	11,494,100	11,511,603
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	93円87銭	2,446円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(株)	17,800	8,420
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注)当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき10株の割合、平成25年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成25年5月9日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年7月1日付をもって、株式分割による新株式を発行しております。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的とするものであります。

(2) 株式分割の概要

平成25年6月30日(日曜日)(当日は休日につき実質的には平成25年6月28日(金曜日))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を1株につき10株の割合をもって分割しました。

(3) 株式分割により増加する株式数(平成25年8月9日現在の発行済株式総数にて算出)

株式の分割前の発行済株式総数	1,152,010株
株式の分割により増加する株式数	10,368,090株
株式の分割後の発行済株式総数	11,520,100株
株式の分割後の発行可能株式総数	32,120,000株

(4) 効力発生日

平成25年7月1日

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、「1株当たり情報」に記載しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岸 信一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 澤山 宏行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。